

喜 農業委員会・児童館共催
家族体験農業

毎年、農業委員会・児童館の共催で行っている「家族体験農業」。親子一緒になって種まきから始め、雑草刈りなどの畑の世話をしながら生育観察を行い、収穫に至るまで、農業の一環を体験する事業です。「コロナ禍にある昨今は、試食を兼ねた交流会はできなかつたものの、収穫の喜びは何事にも代えがたいものでした！」



▲大物をゲット!! してやったり!(連光寺)



▲大豊作の収穫物(連光寺)

ノ宮、東寺方の各児童館に、約120名の親子が集い、5月の中旬から野菜の植え付けを始めました。

一ノ宮児童館のようす

そのうちのひとつ、一ノ宮児童館の事業の様子を紹介しましょう。一ノ宮児童館が栽培する畑は、多摩川と京王線に挟まれ、近くには田植えを待っている水田もお持ちの、農家の小暮さんからお借りしたものです。川からの5月の風が心地よく吹くなか、お父さん・お母さんに連れられた幼児や小学生の子供たちは、初めての体験なのか、なかなか畑に入っこようとしません。さつま芋の苗や里芋の親芋を手にとり、農家の皆さんに教わりながら、恐る恐る植え付けをしていきました。

交流を大切にしながら…

「さつま芋は苗のどこから育

嬉しいっぱいの収穫!

そして10月末に、待ちに待った収穫の時期を迎えました。芋のつるを引っ張り、掘り出した大きなさつま芋をしっかりと掴み、沢山の里芋を両手で抱えて、参加者の喜びの声があちらこちらで上がりました。自分たちが育てた野菜を手にとり、どの子の表情も、誇らしげに見えました。

コロナ禍のため、例年行っている地場野菜を使った試食を兼ねた交流会は、残念ながら中止と

なりました。収穫した野菜は、各自が家へ持ち帰り、家族の食卓を飾ることになるでしょう。**ぜひ一度体感してみませんか?** およそ半年という歳月をかけて、野菜の栽培と収穫を経験しながら、土に親しみ、農業の楽しみを少しでも知ってほしいという思いを込めて、これから多摩市農業委員会は、家族体験農業事業を続けていきます。

未体験の方はもちろん、リピーターの皆様も、児童館を通じて、本事業への参加申し込みをされることをおすすめいたします。
未知の農業体験が、皆様のご参加をお待ちしています。
(農業委員 大松 誠二)

植え付けから収穫まで

令和4年度も、市内4か所の圃場で、5つの児童館との共催により「家族体験農業」を行い

共催事業としての家族体験農業 多摩市農業委員会は、毎年定めている事業計画に沿って、活動しています。市内に残されている農地の保全と有効利用が大きなテーマですが、市民が農地と触れ合い、農業をより身近に感じていただくことも大切なことであると考えています。そのため試みのひとつとして、親子が野菜を手に取り、植え付けから栽培を行い、収穫するまでを体験する「家族体験農業」を実施しています。



▲恐る恐る植え付けていきます…(一ノ宮)

ました。栽培する野菜の種類は、圃場によって違いがありますが、さつま芋、里芋、落花生などです。永山・諏訪、連光寺、一



▲こんな大きな里芋、見たことない!(一ノ宮)